



安全データシート

PHT50 White

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

SDS 整理番号: 037-W557286

作成日: 2022/12/02 改訂日: 2026/09/28 バージョン: 3.0

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : PHT50 White
製品コード : PHT50-W-60
SDS 整理番号 : 037-W557286

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : インクジェットプリンター用インク
使用上の制限 : 推奨用途以外への使用は禁止する

会社情報

製造業者

株式会社ミマキエンジニアリング
長野県東御市滋野乙 2182 番地 3
電話番号:0268-64-2413
FAX 番号:0268-64-5580
緊急連絡電話番号:0268-64-2281

緊急連絡先 (事故に伴い急性中毒のおそれがある場合)

公益財団法人 日本中毒情報センター 中毒 110 番

*一般市民専用電話

(大阪) 072-727-2499 365 日 24 時間対応

(つくば) 029-852-9999 365 日 24 時間対応

*医療機関専用有料電話

(大阪) 072-726-9923 365 日 24 時間対応

(つくば) 029-851-9999 365 日 24 時間対応

尚、弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用
有料電話の利用料は弊社が負担いたします。

2. 危険有害性の要約

ラベル表示適用外

処理時の追加危険有害性 : 通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
純水	60-70	-	-	7732-18-5
ジエチレングリコール	10-20	(2)-415	既存化学物質	111-46-6
酸化チタン (IV)	8	(1)-558,(5)-5225	-	13463-67-7
グリセリン	1-10	(2)-242	既存化学物質	56-81-5
ポリウレタン系樹脂	1-10	非開示	非開示	非開示

コメント : 含有化学物質に関する該当法規制情報については 15 項を参照のこと。

安全データシート

PHT50 White

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般	： 気分が悪い場合は医師の診察を受ける。
吸入した場合	： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	： 皮膚は多量の水で洗浄する。
眼に入った場合	： 水で数分間注意深く洗うこと。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	： 気分が悪いときは医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護	： 特定の危険性は定義されていないが、応急措置を行う者は保護眼鏡、手袋、ハーフフェイスマスクを着用すべきである。反復または長時間のばく露が予想される場合は、追加の保護措置を検討すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合	： 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 皮膚に付着した場合	： 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 眼に入った場合	： 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 飲み込んだ場合	： 通常の条件下では特に無し。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療	： 対症的に治療すること。
-------------------	---------------

5. 火災時の措置

適切な消火剤	： 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	： 強い水流は使用しない。
火災時の危険有害性分解生成物	： 有毒な煙を放出する可能性がある。
消火方法	： 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
消火時の保護具	： 適切な保護具を着用して作業する。 自給式呼吸器。 完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置	： 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。 物的損傷を防止するためにも流出したものを回収すること。
-------	---

非緊急対応者

保護具	： 推奨される個人用保護具を着用する。
応急処置	： 漏出エリアを換気する。

緊急対応者

保護具	： 適切な保護具を着用して作業する。 詳細については、第 8 項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
応急処置	： 不要な職員を退避させる。 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。

安全データシート

PHT50 White

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法 : 砂または土により、すべての拡散した製品を吸収する。
流出した物質は吸着剤で回収し、下水溝や水路への侵入を防止する。
可能であればリスクなく漏出をせき止める。

浄化方法 : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
漏出物は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物等は、関係法規に基づいて処置すること。

その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : データなし

安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。
個人用保護具を着用する。

接触回避 : データなし

衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

処理時の追加危険有害性 : 通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

保管

安全な保管条件 : 涼しいところに置き、日光から遮断すること。

安全な容器包装材料 : データなし

技術的対策 : 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。

容器包装材料 : 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

ジエチレングリコール (111-46-6)	
日本 - ばく露限界値 (厚生労働大臣が定める濃度の基準)	
現地名	ジエチレングリコール
8 時間濃度基準値	10 ppm
規則参照	労働安全衛生規則第 577 条の 2 第 2 項 (令和 8 年 10 月 1 日適用物質)
酸化チタン (IV) (13463-67-7)	
日本 - ばく露限界値 (日本産業衛生学会)	
現地名	二酸化チタン # Titanium dioxide
許容濃度	2 mg/m ³ 総粉塵 1.5 mg/m ³ 吸入性粉塵 0.3 mg/m ³ ナノ粒子
特記事項 (JP)	発がん性分類 2B

安全データシート

PHT50 White

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

酸化チタン (IV) (13463-67-7)	
規則参照	許容濃度等の勧告 (2025 年度) 産衛誌 67 巻
アメリカ合衆国 - ACGIH® - Threshold Limit Values	
現地名	Titanium dioxide
ACGIH® TLV® TWA	0.2 mg/m ³ (Nanoscale particles. R - Repirable particulate matter) 2.5 mg/m ³ (Finescale particles. R - Repirable particulate matter)
留意点 (ACGIH®)	TLV® Basis: LRT irr; pneumoconiosis. Notations: A3 (Confirmed Animal Carcinogen with Unknown Relevance to Humans)
規則参照	ACGIH 2026

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。
局所排気装置等により作業者がばく露から避けられるような設備にすること。

保護具

個人用保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。
呼吸用保護具 : 適切なマスクを着用する。
手の保護具 : 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用すること。(JIS T 8116)
眼の保護具 : 安全メガネ
皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。
環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体
色 : 白色
臭い : 微臭
pH : 7-9
融点 : データなし
凝固点 : データなし
沸点 : データなし
引火点 : 引火しない
自然発火点 : データなし
分解温度 : データなし
可燃性 : データなし
蒸気圧 : データなし
相対密度 : データなし
密度 : データなし
相対ガス密度 : データなし
溶解度 : データなし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow) : データなし
爆発限界 (Vol-%) : データなし
動粘性率 : 3-5mPa・s
粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。

安全データシート

PHT50 White

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7項参照）。
混触危険物質	: 酸化剤。金属類。
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: データなし
急性毒性 (経皮)	: データなし
急性毒性 (吸入)	: データなし
皮膚腐食性／刺激性	: データなし

PHT50 White	
pH	7-9

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: データなし
------------------	---------

PHT50 White	
pH	7-9

呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: データなし
誤えん有害性	: データなし

PHT50 White	
動粘性率	3-5mPa・s

12. 環境影響情報

生態毒性

一般注意事項	: 漏洩、廃棄等の際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱に注意する。 特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。
水生環境有害性 短期（急性）	: データなし
水生環境有害性 長期（慢性）	: データなし

残留性・分解性

PHT50 White	
残留性・分解性	急速分解性でない

生体蓄積性

PHT50 White	
生体蓄積性	データなし

安全データシート

PHT50 White

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

土壌中の移動性

PHT50 White	
土壌中の移動性	データなし

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
廃棄方法	: 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。
残余廃棄物	: 本製品の廃棄物は、製品自体と同様に有害であり、環境への影響も同様に考慮する必要がある。 廃棄物の管理および処理は、製品本体で定められた方法に従うこと。
地域の廃棄規則	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
推奨下水処理	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
追加情報	: 空の容器を再利用しない。

14. 輸送上の注意

UN RTDG / IMDG / IATA に準ずる

国際規制

国連勧告(UN RTDG)

国連番号 (UN RTDG)	: 該当なし
正式品名 (UN RTDG)	: 該当なし
容器等級(UN RTDG)	: 該当なし
輸送危険物分類 (UN RTDG)	: 該当なし

海上輸送(IMDG)

国連番号 (IMDG)	: 該当なし
正式品名 (IMDG)	: 該当なし
容器等級(IMDG)	: 該当なし
輸送危険物分類 (IMDG)	: 該当なし

航空輸送(IATA)

国連番号 (IATA)	: 該当なし
正式品名 (IATA)	: 該当なし
容器等級 (IATA)	: 該当なし
輸送危険物分類 (IATA)	: 該当なし

海洋汚染物質	: 非該当
特別な輸送上の注意	: 取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。 容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

安全データシート

PHT50 White

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

陸上規制 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
必要であれば、荷造り人は運送業者に運搬注意書（イエローカード）を交付する。

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第 5 7 条第 1 項、施行令第 1 8 条第 2 号～第 3 号、安衛則第 3 0 条別表第 2）
ジエチレングリコール
酸化チタン（IV）
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第 5 7 条の 2 第 1 項、施行令第 1 8 条の 2 第 2 号～第 3 号、安衛則第 3 4 条の 2 別表第 2）
ジエチレングリコール（別表の番号：726）
酸化チタン（IV）（別表の番号：623）

毒物及び劇物取締法 : 該当しない

消防法 : 該当しない

化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法) : 該当しない

16. その他の情報

参考文献 : 原材料の SDS。
独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE) GHS 分類結果。
CLP 規則 (EC) No1272/2008 付属書 VI。
REACH 規則 (EC) 1907/2006 登録情報。
GHS 対応 SDS・ラベル作成ガイドブック 混合物用（塗料用）。
JIS Z 7252。
JIS Z 7253。

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。